



HDMI[®] ALLM対応およびVRR対応 について

RX-A8A RX-A6A

RX-A4A RX-A2A

RX-V6A RX-V4A

HDMI® ALLM対応およびVRR対応について

本製品のファームウェアをアップデートすると、Gaming機能であるALLMとVRRに対応します。

対応ファームウェアバージョン

- ・ Ver.1.73 以降 (RX-A8A、RX-A6A、RX-A4A)
- ・ Ver.1.58 以降 (RX-A2A、RX-V6A、RX-V4A)

■ ALLM (Auto Low Latency Mode)

ALLMとは、テレビがHDMI経由で入力されたコンテンツに応じて、低遅延モードと高画質モードを自動的に切り替える機能です。テレビはHDMI機器（家庭用ゲーム機など）からのALLM情報にもとづき、例えばゲームコンテンツでは低遅延モード、映画コンテンツでは高画質モードのように切り替えます。本製品は映像信号とともにALLM情報をテレビへリポート出力します。ALLM情報を検出すると、映像と音声の遅延が少なくなるよう自動的に設定を切り替えます。

- ・ ALLM情報を検出しているときは、本製品の次の設定はできません。
(RX-A8A、RX-A6A、RX-A4A)
 - ・ オプションメニュー「リップシンク」
 - ・ 設定メニュー「音声設定」>「リップシンク」>「自動/手動選択」および「調整」
 - ・ 設定メニュー「ビデオ/HDMI設定」>「ビデオモード」
(RX-A2A、RX-V6A、RX-V4A)
 - ・ オプションメニュー「リップシンク設定」
- ・ 本製品でALLMの設定を変更したり、ALLMの情報を確認したりすることはできません。
- ・ ALLMは、HDMI機器とテレビの両方がALLMに対応している場合に動作します。

■ VRR (Variable Refresh Rate)

VRRとは、映像ソースとディスプレイのリフレッシュレートを同期し映像のちらつきを抑制する機能です。この機能によりゲームのプレイに支障をきたすフレームレートずれによるカクつき/コマ落ち(Stuttering)や画面割れ/ちらつき(Tearing)といった現象が解消されます。本製品はVRR映像信号をパススルーします。

- ・ VRR映像信号をパススルーするには、本製品の設定メニュー「HDMIビデオフォーマット」を「8Kモード」に設定してください。

HDMI® ALLM対応およびVRR対応について

- VRR映像信号をパススルー中は次の機能は動作しません。
(RX-A8A、RX-A6A、RX-A4A)
- 設定メニュー「ビデオ/HDMI 設定」>「ビデオモード」>「ビデオモード」の「信号処理」
(RX-A2A、RX-V6A、RX-V4A)
- 設定メニュー「HDMI 設定」>「4K アップスケーリング」

Yamaha Global Site
<https://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

© 2022 Yamaha Corporation

2022年8月発行 NV-A0

VGJ0780